

神奈川イグレンの活動状況を伝える機関紙



神奈川イグレンニュース

<第204号>

発行：神奈川県異業種連携協議会（議長 金究武正）
 発行責任者：専務理事 芝 忠 編集担当：愛賢司
 〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80 神奈川中小企業センタービル 7F
 Tel./FAX 045-228-7331 <http://www.kanagawa-iguren.com>

2019年11・12月合併号

イベントのお知らせ

→ 第84回 西湘サロン

日時	2020年1月20日（月）午後6時30分～8時30分（開場6時）
場所	おだわら市民交流センターUMECO（JR小田原駅東口より徒歩約2分）
内容	<p>話題：『重要文化財「明治丸」の紹介』</p> <p>特定非営利活動法人 日本海洋塾 理事 澤間譲治氏</p> <p>船舶として初めて重要文化財の認定を受けた明治丸は、明治6年（1873）3月7日付、山尾庸三（長州ファイブの一人）より建造荷が提出され、英国グラスゴーのネピア造船所に発注、明治7年11月より竣工、明治8年2月に横浜着港。建造荷では、灯台業務船としての建造目的が記されていますが、実際には明治天皇の御座船としても使用されるよう豪華な設計が施され、又いくつかの歴史的舞台でその名前を残している歴史的な船です。今回その見所と生い立ち、主な事跡を御紹介致します。</p>
参加費	1,500円（当日）

→ 第54回 海老名サロン

日時	2020年1月31日（金）午後3時より
場所	神奈川中小企業センター6階 大研修室（JR関内駅徒歩約3分）
内容	<p>テーマ「医者が病気を治せない時代をどう乗り越えるか ～紅茶とドライフルーツを試飲・試食しながら」</p> <p>コージュ株式会社代表取締役 速石 敏雄 氏</p> <p>2020年最初の海老名サロンは、ちょっと趣を変えて、紅茶のプロによる美味しい紅茶を試飲し、珍しいドライフルーツを試食しながら、食と健康について語り合ひましょう。</p>
参加費	*資料代1,000円 *交流会参加費4,000円「とりろう」（関内駅前）

※ イベントの詳細は最終ページをご覧ください。

皆さんの参加をお待ちしています。

今月のコンテンツ

1. 第66回「新事業・新技術支援フォーラム」報告..... 2ページ
 2. 川異研通信..... 4ページ
 3. 閑中閑話..... 6ページ
- 巻末 第84回 「西湘サロン」のご案内
 第54回 「海老名サロン」のご案内

➔ 第66回「新事業・新技術支援フォーラム」報告

出席者 (敬称略)	伊藤幸彦、岡田俊、石川常夫、三宅伴幸、村上嘉男、山本俊夫、愛賢司、指方順一郎、内藤孝輔、芝忠、松井利夫
開催日時	令和元(2019)年12月14日(水) 14:10~16:30
開催場所	神奈川中小企業センタービル 11F ミーティングルーム

(芝) 今日は、(株)サンナイオートメーションの代表取締役 内藤孝輔氏に災害時用の「クイックナップ」について説明して頂きます。

(内藤) 初めまして、どうぞ宜しくお願いします。大学を卒業後、ファクトリーオートメーションの会社に就職し、1972年に独立、現在もFA関連の仕事をメインでやっております。

災害時に避難所での安眠等の確保を目的とした「クイックナップ・エアーマット」を開発したきっかけは、東日本大震災のおり、神奈川県でも避難者がパシフィコ横浜の展示ホールなどの避難場所の床に、直に自分の着ていたコートを敷いて休んでいる姿を見て、「あれでは寒くて寝られないだろう」思ったことです。

何か役立つものを提供できないかと色々と考えていた時、ポータブルDVDのビニール包装を見て「クイックナップ・エアーマット」の開発を思いつき、試作に着手しました。さらに、毛布に代わる安価で保温性の高い寝袋をと考えていた時、冷凍食品を包むアルミ蒸着シートを見て一緒に試作に着手しました。素材の選択やマットの空気を入れる部分のサイズ等、開発にかなり苦労しました。お陰様で、(一財)神奈川県経営者福祉振興財団が毎年主催して開催する「かながわ産業 Navi 大賞 2019」において奨励賞を受賞いたしました。

また、10月1日に震災被害が大きかった陸前高田の市役所を訪問し、岩手大学地域防災研究センター客員准教授中村吉雄氏による「エアーマット及び安眠寝袋のテスト結果」で高い評価をいただきましたので紹介します。

“災害時の「安眠」の備え万全ですか”



川崎ものづくりブランド + 内閣府・防災推進協議会

一般社団法人 防災安全協会

ダブル認定・推奨品



クイックナツプ



❖ エアーマット

- ① 【強 度】 フィルムとは思えない予想以上の強度がある。
- ② 【空気抜け】 チューブをパンクさせても全く他に影響がない。
- ③ 【寝 心 地】 救急隊のマットより数段寝心地が良く、救急活動時の心肺停止蘇生施術（AED）の際のクッションとしてベストだ。
- ④ 【応 用 例】 エアーマットをカットすると、緊急時のギブスとしても活用できるし、浮き輪など広範囲に応用出来る。

❖ 安眠寝袋

- ① 【保 温 性】 3分程度で自分の体温で温かくなり保温力も抜群。
- ② 【応 用 例】 首や手の部分をカットしてポンチョを作り、被災場所や避難所でのトイレや授乳時のカバーなど応用範囲が広い。

「安眠マルチ寝袋」は保温性とクッション性を兼ね備えた低コスト製品です。これらの製品は、(一社)防災安全協会や川崎ものづくりブランド、内閣府などで防災推奨品として認定されています。「クイックナップ」は、モノづくりも大変だが、売るほうがもっと大変だと実感しています。従業員は20人いるが、社長単独で開発・営業をやっている。自治体によって防災に対する対策がまちまちであったりして、予算の都合で後回しにされてしまうことがある。全国展開も考えに入れながら努力しているところです。

➔ 内藤氏の報告に対し活発な意見が出されましたので、いくつか紹介します。

- ❖ 首都圏での災害が多くなり自治体や住民の防災に対する意識も変わってきている気がする。災害の実態からも防災用具の整備が必要という考えが広がりつつある。
- ❖ 空港などで長時間の運休で乗客が足止めを食らった事故があったが、常備品として確保するようなことはできないか。
- ❖ 障害者の利用しやすい廉価なもの開発はどうか。
- ❖ 介護施設での活用は難しいようだが、腰の障害のある人は多い。スポーツ観戦時の携帯用座布団として使い勝手が良い。
- ❖ 「使い捨て」というのは現在の資源・環境問題を考えると若干疑問が残る。
- ❖ デザイン性も応用範囲を広げるうえで今後の課題ではないか。

(文責 松井 愛)

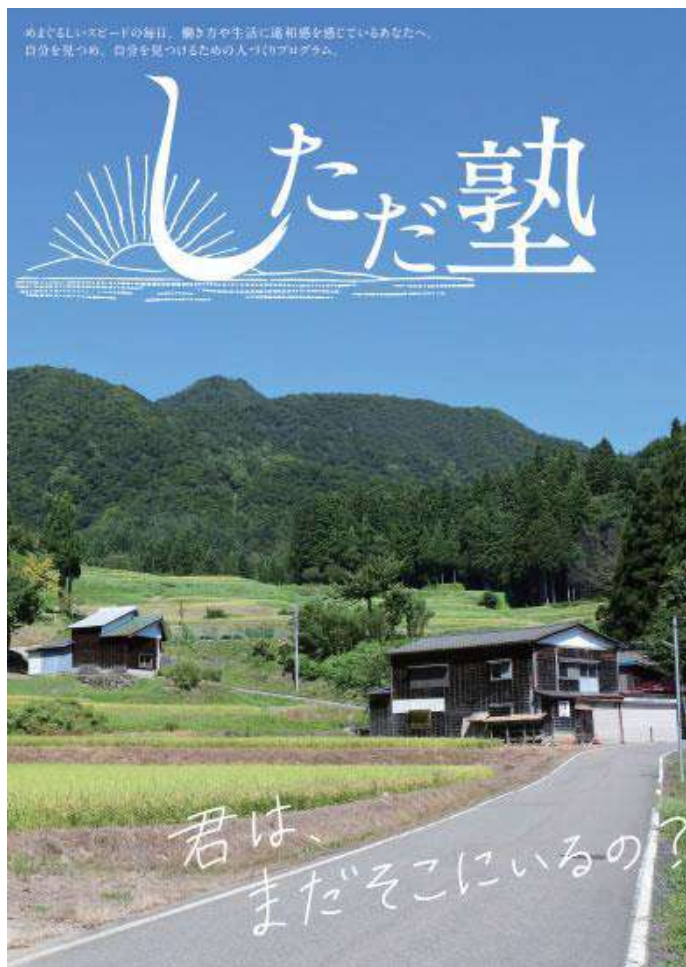
➔ 川異研通信

《9月定例会》

9月12日(木) 当所にて会員13名、オブザーバー2名、和光大学学生8名の参加者を得て9月定例会を開催した。講師に慶応義塾大学 SFC 研究所上席所員 永石尚子氏を迎え、「よそ者・若者がうみだす三条市の新しい価値と伝統の継承」というテーマで講演が行われた。

講師が関わる新潟県三條市東部にある下田(しただ)地域で行われている地域活性化事業について、詳しく事例が紹介された。三條市は「金物のまち」として全国的に有名だが、少子高齢化やシャッター商店街、若者の地元離れなど多くの社会問題を抱えている。

そんな中、三條市長ほか地元の自治会長などが中心となり開講された「しただ塾」は、旧小学校を利用した滞在型職業訓練。県外からの若者も集まり、自然環境や観光資源を生かしたカリキュラムで学んでいる。外部人材だからこそ、常識にとらわれない発想や企画が生まれている。地域活性化事業の事例として、古民家をリノベーションしたユニークでおしゃれなカフェや、地元産サツマイモを使った芋焼酎づくりほか、新潟県内で初めて発足した3人制バスケットボールのプロチームなど事例が紹介された。



参加者からは、大変興味深い内容で1時間があっという間だったと好評を得た。また講師には10月の国内視察会（燕三条）で訪問する視察先選定にもご協力頂いており、講演の中で視察先企業の説明も盛り込まれ、来る視察会がより身近に感じられた。講演会後は、講師も参加され交流会が和やかに行われた。

《9月勉強会》

9月19日（木）会員7名、和光大学学生2名の参加者を得て9月勉強会を開催した。会場は東京都大田区にある日本メンブレン株式会社（当会会員）。今回は代表取締役 吉田厚英氏に社業紹介と会社案内をしていただいた。同社が入る [テクノFRONT](#) は工場集積の維持発展、地域産業の活性化に寄与するため大田区が建設し平成20年に開設した「工場アパート」。



耐震も非常によく、東日本大震災時もあまり危険を感じなかったという。勉強会では、メンブレンスイッチや無機EL等、日本メンブレン製品についての説明があった。会社見学ほか現場の興味深い話なども聞けて、大変充実した勉強会となった。

→ 閑中閑話

バネを製造している友人の社長から、横浜のある大学に頼まれて60人程の学生さん達を前に講義をした時の話を聞いた。友人は、会社の事業紹介や製品開発の苦労話をしたという。実際に物を見せながら講義をしたせいか、居眠りをする者も無く、職員から「さすがですね」という評価を受けたという。

講義体験の中で友人が興味を持ったのは、半数以上が女子学生だったことと、積極的に質問してきた学生がいたことだ。富山県出身のある女子学生は、終わった後も20分以上製品開発のことや中小企業について質問してきたそうだ。人材確保に苦労している中小企業の我が身を振り返って、学生や若い世代への見方を変える必要性と、中小企業の魅力をもっと広く訴えていく努力を感じたという。

イグレンも今まで大学と中小企業との連携の場を提供してきましたが、地域サロンへの大学生の参加などいろいろな形で大学との連携も試みる必要性を感じた次第です。(愛)

皆様、良いお年をお迎えください。

来年も宜しくお願い申し上げます。

神奈川県異業種連携協議会

交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください(無料)

【月】	①②③宮川 豊 ④⑤愛 賢司
【火】	①②④⑤児玉 英二 ③愛
【水】	①菊地 ②指方 ③加藤 ④愛 ⑤芝
【木】	①②③④⑤松井 利夫
【金】	①愛 ②指方 順一郎 ③④⑤織方
【土、日、祭日】	休業

→ 神奈川県イグレン事務局

〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80

神奈川県中小企業センタービル7階インキュベートルーム 703号

Tel./Fax 045-228-7331 URL : <http://www.kanagawa-iguren.com>

Mail : iguren@kanagawa-iguren.com

地域の幅広い人材交流を目指した「神奈川新産学公交流サロン」
第84回西湘サロン開催のお知らせ

神奈川県異業種連携協議会（イグレン）事務局

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル7階

【日時】：2020年1月20日（月）午後6時30分～8時30分（開場6時）

【場所】：おだわら市民交流センター**UMECO** (TEL:0465-24-6611)

【会費】：参加費1,500円（当日）

*次回 85回予定：2020年3月9日（月） 18:30～ 場所：UMECO



1. 話題：**重要文化財「明治丸」の紹介**

特定非営利活動法人 日本海洋塾 理事
澤間譲治氏

船舶として初めて重要文化財の認定を受けた明治丸は、明治6年（1873）3月7日付、山尾庸三（長州ファイブの一人）より建造伺が提出され、英国グラスゴウのネピア造船所に発注、明治7年11月より竣工、明治8年2月に横浜着港。建造伺では、灯台業務船としての建造目的が記されていますが、実際には明治天皇の御座船としても使用されるよう豪華な設計が施され、又いくつかの歴史的舞台でその名前を残している歴史的な船です。今回その見所と生い立ち、主な事跡を御紹介致します。

2. テーブルディスカッション（ビール、つまみを用意します）テーブルを囲み、自由に討論・交流を行います。

3. 場所



JR 小田原駅東口より
徒歩約2分です。

住所：小田原市栄町一丁目1番27号（駅東口駐車場1階）（TEL:0465-24-6611）

個人で参加される方は、申し込みの必要がありません。多人数で参加される方は会場の準備の都合もありますので下記参加申込書で参加人数を教えてください。

参加申込 E-mail yoshiike@maple.ocn.ne.jp

Tel&Fax 0467-32-5154（吉池）

氏名	(参加人数： 名)	所属・役職	
住所		電話番号	()
		FAX番号	()

第54回海老名サロン開催要領

I. 日 時 2020年1月31日(金)午後3時より

II. 会 場 神奈川中小企業センター6階大研修室

III. 進 行

2. 報 告

テーマ「医者が病気を治せない時代をどう乗り越えるか (3時05分～4時45分)

～紅茶とドライフルーツを試飲・試食しながら」

コージュ株式会社代表取締役 速石 敏雄 氏

- (1) 抗酸化作用と血液循環と言えば～ポリフェノール豊富な紅茶は
- (2) 時間がたってもエグミが出ない、飲みやすい
- (3) 保温水筒に入れたままで美味しく安心
- (4) 今まで飲んでいた紅茶に戻れなくなる紅茶
- (5) イラン産ドライフルーツ CojuCrimson
- (6) 無農薬・無添加・天日乾燥
- (7) 紀元前から続く食文化「乾燥果実」

2020年最初の海老名サロンは、ちょっと趣を変えて、紅茶のプロによる美味しい紅茶を試飲し、珍しいドライフルーツを試食しながら、食と健康について語り合いました。

IV. 交流会 「とりろう」(関内駅前)

*資料代 1,000円

*交流会参加費 4,000円

(出欠席 ○の記入をお願いします)

サロン (出席 欠席) 交流会 (出席 欠席)

ご本人以外のご出席者 (ご芳名・所属をご記入ください)